

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新規就農者の地野菜生産を中核にした就農支援事業
事業主体 (連絡先)	王滝村 産業課 (0264-48-2001)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,829,492円(うち支援金:2,145,000円)

事業内容

【水稻・王滝かぶ・そば栽培作業講習会の開催】

【機械を活用した草刈り講習会の開催】

上記、各種講習会を行うにあたり、特産品目等の生産拡大を目指すため、それぞれに農作業機械を導入し、労力の省力化や、営農初心者の負担軽減を図った。更には村内の多くの高齢農業者へ向けた受託農作業を供給できるよう、各種農作業機械運転講習会を開催し、多くの農業者に農作業機械を活用した効率の良い農作業方法を習得いただいた。機械のメンテナンス及び管理、運用を合理化組合に担っていただく中、合わせて村内若者及び定年退職者の農作業機械オペレーター育成も同時に図った。



【労力補填：王滝かぶ収穫体験】

【目標・ねらい】

- ① 新規就農者の営農育成(地野菜生産)
- ② 農作業機械導入による労力の省力化
- ③ 合理化組合のリーダー養成と組織再編
- ④ 地野菜栽培(収穫)時の労力の補填

事業効果

- ① 新規就農者育成が活発に実施された。
- ② 機械導入により労力の省力化を実現。
- ③ 合理化組合の新規オペレーター5名育成。
- ④ 村外からの王滝かぶ収穫体験者による労力の補填に成功。

【王滝かぶ】 H29 作付 0.4ha 収穫 5t → H31 作付 0.7ha 収穫 10t

【そば】 H29 作付 4.7ha 収穫 1.5t → H31 作付 4.9ha 収穫 1.4t

【水稻】 H29 作付面積 3.9ha → H31 作付面積 3.9ha

※自己評価【 A 】

【理由】

新規就農者を中心に地野菜の生産量を増やすことができた。また、合理化組合の新規オペレーター育成により高齢農業者の地野菜栽培作業を機械化によりカバーし生産量の減少をくい止めた。

今後の取り組み

ハード事業で整備した(トラクターへ装着する草刈り機)フレールモアを活用した草刈講習会では多くのオペレーターを養成することができ、高齢農業者から新規で依頼のあった農地の草刈作業は、18筆約2haを受講者が連携して実施するまでに至った。総合的には、各種講習会において若者や定年退職者の新規就農を促進し、10年ぶりに農業機械の運転オペレーターが新規に5名誕生し、合理化組合の再編も手掛けることができ、法人化に向けた人づくりとしても一歩前進することができた。これからは、王滝かぶ生産を守るため、春秋の栽培等において、県外者の収穫体験を受け入れながら効率の良い栽培を目指す。同時に春の王滝かぶ赤かぶ漬の商品化を、少しずつ拡大させる。収穫作業における労力の補填を実施する中で、地野菜の収穫体験を通じた交流人口の増加にもつなげる。最終的目的としては、当該事業の営農活動におけるIターン者等の活躍は、未来のIターン者を受け入れる際のきっかけづくりになる可能性も十分秘めているため、多くの新規就農者の王滝村での営農を全面的にバックアップすることにより、長期を見据えた定住促進を目指す。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある